

平成27年度 病院事業会計予算の概要

地域の中核病院として 総額28億5,170万円

平成27年度予算は、慢性的な医師不足による厳しい経営状況の中で、地域の中核病院としての役割を担うため、医師・看護師の確保を最重要課題として取り上げ、医師確保対策に引き続き取り組んでいきます。また、医療サービス向上のため救急患者受け入れを強化するとともに、引き続き職員のスキルアップのため研修事業の充実を図ります。

1 業務予定量

病院事業収益のうち、延べ入院患者数は、29,784人（1日平均81.6人）、延べ外来患者数は80,520人（1日平均330人）を見込みました。

また、ぬくもりの郷の延べ入所者数は33,945人（1日平均93人）、延べ通所者数は6,896人（1日平均23.5人）を見込みました。

2 収益的収支

収益的収支は、病院の経営活動に伴って発生する収益と費用です。

収益の主なものは、入院・外来収益や一般会計からの繰入金などがあります。また、費用では、職員給与費、診療に必要な材料費、経費、建物や医療機器などの減価償却費などのほか、医師確保費用として医師を紹介していただいた人への謝礼や医師奨学金などが計上されています。

病院事業会計総額の収益および費用はそれぞれ28億5,170万円で前年度に対して収益は2,790万円（▲1.0%）の減額、費用は1億1,213万円（▲3.8%）の減額となりました（表1）。

◆表1 (単位：万円、%)

	区分	27年度	26年度	増減額	増減率
収益	病院	212,592	219,988	▲7,396	▲3.4
	介護老人保健施設事業	72,578	67,972	4,606	6.8
	合計	285,170	287,960	▲2,790	▲1.0
費用	病院	212,592	226,071	▲13,479	▲6.0
	介護老人保健施設事業	72,578	70,312	2,266	3.2
	合計	285,170	296,383	▲11,213	▲3.8

3 資本的収支

資本的収支は、将来の経営活動に備えて行う医療機器の購入や施設整備、企業債の償還金とその財源としての企業債や一般会計からの出資金があります。

平成27年度については、光干渉断層計や電子内視鏡システムなどの購入を予定しています。なお、今年度、収入が支出に対して不足する額1,279万円（表2参照）は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。

◆表2 (単位：万円、%)

区分	27年度	26年度	増減額	増減率
資本的収入	16,584	10,200	6,384	62.6
資本的支出	17,863	14,055	3,808	27.1
差し引き	▲1,279	▲3,855	2,576	▲66.8

スタッフの 新ユニホーム

病院スタッフのユニホームが3月から新しくなりました。職種ごとにデザインを変え、来院される患者様に対応している職員の職種が明確になるようにしています。



看護師と看護助手(写真左)のユニホーム

「チーム医療」を推進してま

昨年は、消費税率のアップが原因と考えられる外来患者の受診抑制などから、全国的に入院患者も減少し、当院でも、病床利用率、収益率が悪化しました。今年度はこうした状況に加え、4月の段階で2名の医師が減ったため、引き続き経営的にも、運営的にも厳しい状況といえます。しかし、当院では、医療の質を落とさないため、今まで以上に病院職員一丸となった

「チーム医療」を推進してま

いります。チーム医療の実行に当たり、毎年テーマを決めています。今年度は「地域連携」をテーマとし、各部門で研修などを実施いたします。地域連携とは、この4月から地域包括ケア病棟入院料や地域包括ケア診療料が制度化されたことにより、従前の病院と病院・診療所の連携にとどまらず、病院と施設・介護事業所・支援センター・行政などと連携することです。病院職員全員が地域包括ケアの概念を十分理解し、初期診療の段階から「地域に帰ってどうやって生活できるようにしていくか」を考慮した医療・看護が実施できるよう、努めてまいります。



病院事業管理者
菊地紀夫 院長

平成27年度の
スタートに当たって

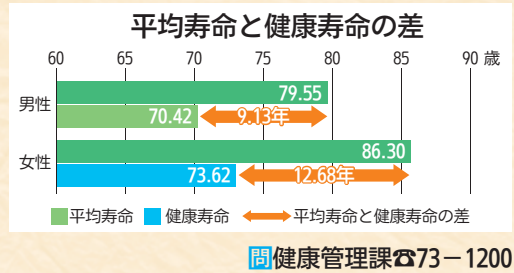
※このページに関する問い合わせは市民病院☎72-1525へ

応援します
健康づくり
No.24

健康日本21 ～健康寿命の延伸～

健康日本21とは、21世紀の国民健康づくり運動のことで、平成25年度からこの運動の(第2次)が始まっています。その目標のひとつに「健康寿命の延伸」があります。健康寿命とは「健康上の問題が無く、日常生活の制限が無い期間」であり、平均寿命と健康寿命との差は、男性約9年、女性約12年となっています。

今後このコーナーでは、健康寿命を延ばすため、一人ひとりが取り組める健康づくりについて紹介していきます。



健康運動教室 (はつらつ教室)

今月はありません

問 高齢者支援課 ☎73-0033

成人健康相談

今月はありません

問 健康管理課 ☎73-1200

高齢者肺炎球菌予防ワクチン

助成対象者へ個別通知送付

高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種に対する助成を行います。

平成27年度の助成対象者は下表の通りです。今年度の対象者には個別に通知しましたので、ぜひ接種してください。

対象者：①下表の該当者で過去に一度も肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けたことがない人②60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器疾患などの慢性疾患および免疫不全などがあり、日常生活に著しく障がいのある人(身体障害者手帳1級程度)

助成期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

助成額：接種料金のうち3千円

助成方法：個別通知に同封の予診票を医療機関に持参し接種(医療機関へ予約してください)。接種料金を自己負担(接種料金は医療機関によって異なります)。

接種場所：個別通知に記載した医療機関。その他の医療機関にかりつけ医がいる場合は、千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度で接種できる場合があります。主治医、または健康管理課までお問い合わせください。

問 健康管理課 ☎73-1200

平成27年度の助成対象者は下表の通りです。今年度の対象者には個別に通知しましたので、ぜひ接種してください。接種料金を自己負担(接種料金は医療機関によって異なります)。

◆今年度助成対象者

年齢	生まれ年
65歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日
70歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日
75歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日
80歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日
85歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日
90歳	大正14年4月2日～大正15年4月1日
95歳	大正9年4月2日～大正10年4月1日
100歳	大正4年4月2日～大正5年4月1日

※なお、他の年齢の人も、平成30年度まで毎年「65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳」となる人が順次助成の対象となります。

給食センターからこんにちは No.23

かき揚げ



材料 (4人分)

エビ70g イカ30g ニンジン40g
タマネギ50g サツマイモ50g むき枝豆10g コーン10g 芽ヒジキ(乾)2g 天ぷら粉40g 米粉30g 卵15g (L玉約1/4個) 水適量 揚げ油適量

和食の代表的な食材として昔から食べられてきたヒジキは、3～4月が旬。ミネラルや食物繊維が豊富で、骨を強くし、貧血を予防する働きがあります。今回は芽ヒジキを使用した「かき揚げ」を紹介します。

作り方

- ①芽ヒジキは水で洗い、戻しておく。
- ②エビ、イカは食べやすい大きさに切り(イカはたんざく切りなど)、タマネギはスライス、ニンジン・サツマイモは太めの千切りにする。
- ③卵、天ぷら粉、米粉、適量の水を混ぜる。
- ④③に全ての材料を混ぜる。
- ⑤4等分して形を整え、中～高温の油

ヘルシーな学校給食を ご家庭で再現してみませんか

で、途中で裏返ししながら約2～3分揚げる。

栄養価 (1人分)

エネルギー 175kcal たんぱく質6.9g
脂質7.4g カルシウム34mg 食塩相当量0.2g

給食献立 (3月3日(火) 中学校)



かき揚げ 米粉入りめん
きのことうどん汁 桃色ヨー
グルトあえ ひなあられ
牛乳

問 学校給食センター ☎70-2210